

2023年度

環境経営レポート

(対象期間 2023年4月 ～ 2024年3月)



株式会社 福島組

作成日：2024年6月10日

目 次

I. 環境経営方針

(P1)

II. 組織の概要

(P2 ～ P3)

III. 環境目標とその実績

(P4 ～ P6)

IV. 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度の目標及び取組内容

(P7 ～ P8)

V. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価ならびに違反、訴訟等の有無

(P9)

VI. 代表者による全体評価と見直しの結果

(P9)

株式会社福島組 環境経営方針

<環境経営方針>

株式会社福島組は、津軽地方において特定建設業に係る事業活動を通して、地域社会に貢献して参りました。

当社は、地球温暖化などますます深刻化する環境問題への対応が重要課題であるとの認識に立ち、地域と共に発展していくため、全事業活動を通じて環境の保全と改善に向けての取り組みを積極的・継続的に行い地域への責任と役割を果たしていきます。

<環境保全への行動指針>

- 1 二酸化炭素排出量の削減に取り組みます
- 2 産業廃棄物の3R（減量・再利用・再生利用）活動に努めます
建設副産物の適正な処理を徹底して行います
- 3 水使用量の削減に努めます
- 4 使用資材の化学物質の適正管理に努めます
- 5 地域の環境関連活動を積極的行います
- 6 環境に配慮した施工の効率化に努めます
- 7 環境関連法規制等や当社が約束したことを厳守します
- 8 取り組みを環境活動レポートとして公表します
- 9 蓄積された技術力と信頼性を生かし、環境経営システムの継続的な改善に取り組んで参ります
（1）技術力の向上を目指し、積極的に資格取得のための講習に参加します
（2）有給休暇の利用促進、施設や設備の更新化などに積極的に対応し、働きやすい職場環境を目指します

制定日：2020年 4月 6日

改定日：2021年 6月29日

株式会社 福島組
代表取締役 秋田谷 俊仁

II. 組織の概要

1 名称及び代表者名

株式会社 福 島 組
代表取締役 秋田谷 俊仁

2 所在地

本社事務所 〒038-3276 青森県つがる市木造林阿曾沼 4 6
TEL 0173-42-2262

資材置場 〒038-3275 青森県つがる市木造永田高田 2 7 - 1

3 事業活動の内容

許可番号 青森県知事許可（特-3）第 5154 号

建設業の種類 土木工事業 とび・土工工事業 舗装工事業
しゅんせつ工事業 水道施設工事業 解体工事業

4 認証・登録の対象範囲

株式会社福島組の全事業活動及び全組織

5 事業年度

4 月 1 日 ～ 翌年 3 月 3 1 日

6 環境活動レポートの対象期間

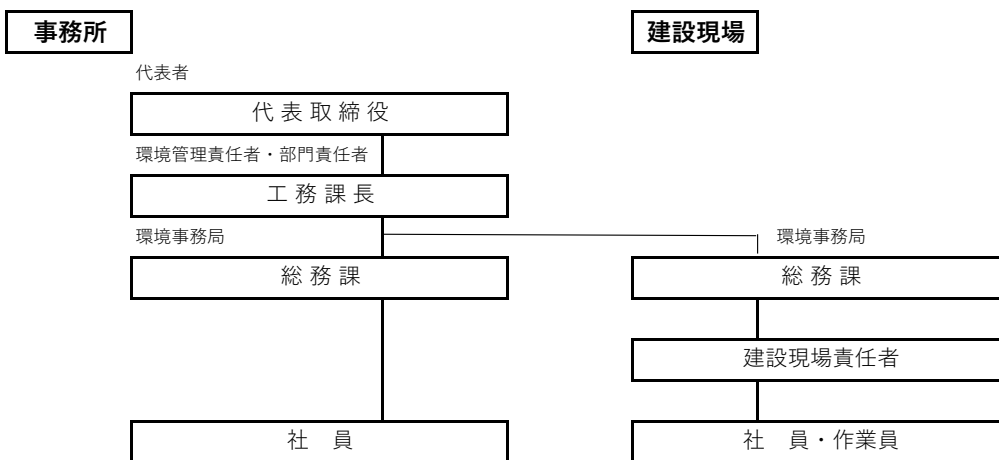
2 0 2 3 年 4 月 ～ 2 0 2 4 年 3 月

2024年3月現在

株式会社 福島組 組織図

本 社	所在地	青森県つがる市木造林阿曾沼46	床面積	307.66㎡
	役職員数	13名		
資材置場	所在地	青森県つがる市木造永田高田27-1	床面積	540.00㎡
	従業員数	14名		

株式会社 福島組 体制図



役 割 ・ 責 任 ・ 権 限 表	
代 表 者	①環境経営全般に関して責任と権限を持つ。②経営における課題とチャンスの明確化③環境方針の策定と全従業員への周知。④実施及び管理に必要な資源（人・物・金・情報）への投資の承認。⑤EA21全体の取組状況に関する評価・見直しの実施及び指示。⑥実施体制の構築
環境管理責任者	①EA21の要求事項を満たす環境経営システムの構築・実行と環境実績の向上。②前記の結果を代表者に報告。③EA21文書類（環境方針を除く）の承認。④環境への負荷及び取組の自己チェックの評価。⑤問題点の審議と解決策の立案。
環境事務局	①環境への負荷及び取組の自己チェックの取りまとめ。②環境目標・環境改善項目の取りまとめ。③環境関連法規制の遵守状況の確認及び情報収集。④環境活動計画書及び進捗管理表による状況報告・評価。⑤社内外の環境情報の収集と伝達の実施。⑥環境活動レポートの作成及び外部コミュニケーションへの記録
部門責任者	①EA21の要求事項を満たす環境経営システムの構築・実行と環境実績の向上。②環境への負荷及び取組の自己チェックの評価。③問題点の審議と解決策の立案。④環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握。⑤環境方針、環境目標、環境活動計画の現場全職員への周知。⑥環境関連法規制の遵守。⑦教育・訓練の実施。
全従業員	①環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

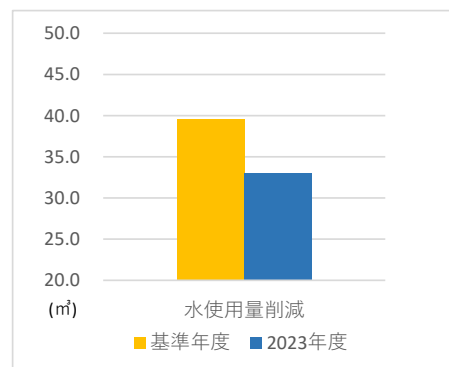
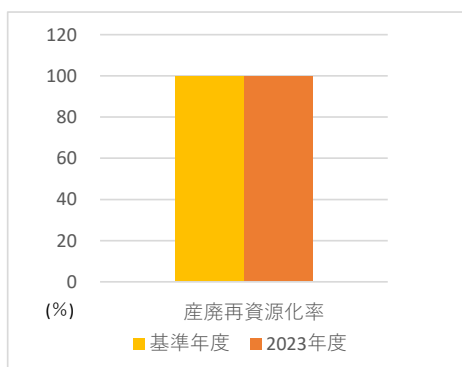
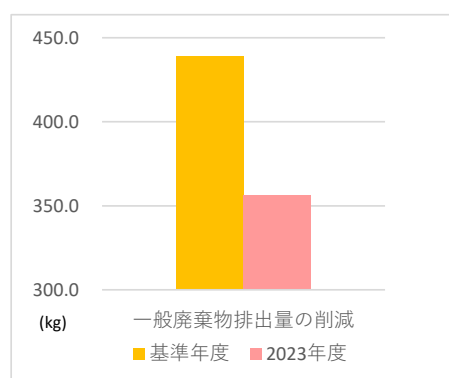
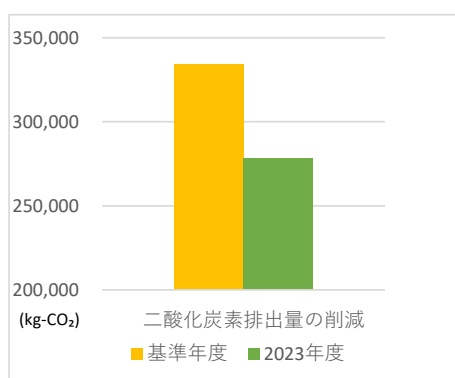
Ⅲ. 環境目標とその実績

1 主な環境負荷の実績

<表1> 主な環境負荷等の実績

項 目		単 位	2022年度 基準年度	2023年度
二酸化炭素排出量 削減	電 力 使用量の削減	kwh	42,068	32,234
	灯 油 使用量の削減	L	3,708	2,078
	LPG 使用量の削減	kg	125.5	38.8
	ガソリン 使用量の削減	L	12,946	11,862
	軽 油 使用量の削減	L	105,665	88,980
	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	334,474	278,367
廃棄物排出量削減 リサイクル推進	一般廃棄物 排出量の削減	kg	439.0	356.0
	産廃再資源化率	%	100	100
水使用量削減		m ³	39.6	33.0
化学物質の管理		化学物質を適正に管理し、定期的に確認している		
自らが施工・販売・提供する製品及び サービスに関する環境配慮		環境に配慮した負荷の少ない工法を行った		
地域貢献		地域や施工現場で積極的に環境活動を行った		

注) 二酸化炭素排出量の算定は、東北電力(株)令和3年度実績の排出係数 0.457 kg-CO₂/kWhを使用した。



2 環境目標の設定

当社では、2022年度を基準年度として中長期及び単年度の環境目標をそれぞれ<表2>の通り設定し、環境活動に取り組んでおります。

<表2>2022年度（基準年度）比の削減（増加）率

設定日：2023年4月6日

項 目		削減率 単 位	2022年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量 削減	電 力	削減率	42,068	△1%	△2%	△3%
	使用量の削減	kwh		41,647	41,227	40,806
	灯 油	削減率	3,708	△1%	△2%	△3%
	使用量の削減	L		3,671	3,634	3,597
	LPG	削減率	125.5	△1%	△2%	△3%
	使用量の削減	kg		124.2	123.0	121.7
	ガソリン	削減率	12,946	△1%	△2%	△3%
	使用量の削減	L		12,817	12,687	12,558
	軽 油	削減率	105,665	△1%	△2%	△3%
	使用量の削減	L		104,608	103,552	102,495
二酸化炭素排出量の削減		削減率	334,474	△1%	△2%	△3%
		kg-CO ₂		331,129	327,785	324,440
廃棄物排出量削減 リサイクル推進	一般廃棄物	削減率	439.0	△1%	△2%	△3%
	排出量の削減	kg		435.0	430.0	426.0
	産廃再資源化率	%	100	100%	100%	100%
水使用量削減		削減率	39.6	△1%	△2%	△3%
		m ³		39.2	38.8	38.4
化学物質の管理			行動目標 化学物質を適正に管理し、定期的に確認する			
自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する 環境配慮			行動目標 環境負荷の少ない工法の採用			
地域貢献			行動目標 地域や施工現場で積極的に環境活動を行う			

注) 二酸化炭素排出量の算定は、東北電力㈱令和3年度実績の排出係数 0.457 kg-CO₂/kWhを使用した。

3 環境目標の達成状況と評価

当社における、環境目標の達成状況の確認と評価を行いました。

舗装工事の請負件数が昨年に比べて減ったため、主に使用する灯油・LPGは使用量減となった。
廃棄物排出量・水使用量に関しては、取組の努力が結果として反映されたものと思われる。

2023年度は昨年同様、圃場整備工事や暗渠排水工事、橋梁基礎工事など大規模工事を多く請負ったため、重機類・ダンプを多く使用する工種が多く、軽油やガソリンの使用量が増大した。

しかし、同種の工程では建設機械を計画的に配分運用する、同じ現場の移動には乗り合わせる、などの施工方法や作業方法に合わせた燃料消費の節約が結果に反映され、削減目標の達成となったと思われる。

<表3> 2023年度の環境目標の達成状況等

項 目		単 位	基準年度	2023年度			
			2022年度	削減率	目標値	実績値	環境目標の達成状況
二酸化炭素排出量削減	電力 使用量の削減	kwh	42,068	△1%	41,647	32,234	○
	灯油 使用量の削減	L	3,708	△1%	3,671	2,078	○
	LPG 使用量の削減	kg	125.5	△1%	124.2	38.8	○
	ガソリン 使用量の削減	L	12,946	△1%	12,817	11,862	○
	軽油 使用量の削減	L	105,665	△1%	104,608	88,980	○
	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	334,474	△1%	331,129	278,367	○
廃棄物排出量削減 リサイクル推進	一般廃棄物 排出量の削減	kg	439.0	△1%	435.0	356.0	○
	産廃再資源化率	%	100	100%	100%	100%	○
水使用量削減		m ³	39.6	△1%	39.2	33.0	○
化学物質の管理			SDSを活用した適正管理、環境上緊急事態の対応訓練等による適正処理の徹底				○
自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮			器具工具類の使用方法や虫よけ対策、生態系の保護等環境に配慮した施工を行った				○
地域貢献			地域清掃活動参加・環境保全活動・現場周辺のゴミ拾い・現場周辺の生態系保護活動の実施				○

注) 二酸化炭素排出量の算定は、東北電力(株)令和3年度実績の排出係数 0.457 kg-CO₂/kWhを使用した。

Ⅳ. 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度の目標及び取組内容

次年度の目標は、2023～2025年度を対象とする3か年の目標のうち2024年度を設定した。

なお、基準値は2022年度を基準としたが、軽油やガソリンについては大型工事が継続することを考慮し設定した。

<表4> 主な環境活動計画の内容

環境方針 目標項目	取組内容	実施状況 の評価	取組結果	次年度目標	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減					
電力使用量の削減	①不要照明の消灯 ②空調管理の徹底 ③不使用機器の待機電力カット ④蛍光灯のLED化	△	冬季の空調管理が徹底されていなかった	基準値 42,068 削減率2% 目標値 41,227 kwh	・ 運転計画を見直し、エネルギー消費の少ない運搬を行う。 ・ 施工方法や作業方法
灯油使用量の削減	①ウォームビズの徹底 ②暖房の時間限定の使用 ③ブラインド・カーテンによる熱の調整	○	暖房の使用を必要最低限に抑えることができた	基準値 3,708 削減率2% 目標値 3,634 L	に合わせた燃料消費を抑制する。 ・ 情報化施工の推進
LPG使用量の削減	①気温や湿度、天候等に左右される工種は最適時期を計画する ②冬期以外は給湯器の使用を節約する	○	取り組みは順調であった	基準値 125.5 削減率2% 目標値 123.0 kg	・ こまめな消灯を行う。 ・ OA機器の適正利用、合理化
ガソリン使用量の削減	①燃費向上のための車両整備 ②エコドライブ励行の声掛け ③アイドリングストップの徹底 ④燃料使用量の確認	○	始業前の車両点検の徹底と適切な配車計画ができた	基準値 12,946 削減率2% 目標値 12,687 L	・ 適切な空調管理の徹底。
軽油使用量の削減	①燃費向上のための車両整備 ②運搬車の段取待ちを減らす ③アイドリングストップ運動を励行する ④効率的な運搬計画の策定	△	重機類の配車管理が不十分であった	基準値 105,665 削減率2% 目標値 103,552 L	
廃棄物排出量削減					
一般廃棄物の発生抑制	①積極的にペーパーレス化を図る ②正しい分別 ③再生製品やリサイクル可能製品の優先的購入	○	取り組みは順調であった	基準値 439.0 削減率2% 目標値 430.0 kg	・ 両面印刷の推奨、裏面の再利用等用紙使用量の削減。 ・ 使い捨て製品の廃棄抑制
産業廃棄物等の適正処理	①混合廃棄物としないよう徹底している ②マニフェストによる適正処理の管理 ③建設発生材の再資源化の推進 ④建設廃棄物の分別徹底	○	処理・管理の徹底が出来ていた	基準値 100 目標値 再資源化率 100 %	・ 材料の計画的調達

環境方針 目標項目	取組内容	実施状況 の評価	取組結果	次年度目標	次年度の取組内容
総排水量削減					
節 水	①日常的な節水の励行	○	順調に削減目標が達成できた	基準値	・ストッパー（シャワー） 使用の徹底
	②水道配管の漏水の確認			39.6	
	③地下水の利用			削減率2%	
	④排水施設の定期的清掃			目標値	
				38.8 ㎡	
化学物質の管理推進					
①乳剤等の使用量の把握		○	従業員教育により確実な取組を行った効果が現れた	・化学物質取り扱いマニュアルの周知・ 乳剤等の購入履歴、使用量の把握徹底・ 現場単位での積極的な教育活動	
②SDSによるP R T R物質の把握					
③建設現場における保管を原則行わない					
環境に配慮した施工の推進					
①現場及び事務所周辺の清掃活動の実施		○	積極的に取り組むことができた	・現場及び事務所周辺の清掃活動の実施・積極的な電子化、I T化による資源使用量の削減	
②電子データ化、I T化の推進					
③事務所周辺の植栽等					
地域貢献					
①地域の環境イベントへの協力・参加		○	計画どおりに参加した	・地域の環境イベントへの協力、積極的参加・地域防災協定に係る活動への参加	
②現場及び事務所周辺の清掃活動の実施					
③地域防災協定に係る活動への参加					
④青森県ふるさとの水辺サポーター活動					
経営における課題とチャンスへの取組の推進					
①CPD・CPDS等職能スキルアップの推進		○	基準年以上に重点的に取り組み結果として現れた	・全職員のCPDS認定講習への案内の徹底と参加の推進	
②残業時間の削減、有給休暇取得の推進					
③資格取得の支援					

実施状況の評価 : ○評価できる △まずまず評価できる ×評価できない

<環境活動の状況>



教育活動の様子



廃棄物の分別



省エネ活動の掲示



環境保全活動の様子



V. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等

・建設リサイクル法	・騒音規制法	・フロン排出抑制法
・廃棄物処理法	・振動規制法	・悪臭防止法

環境関連法規等について一覧表に取りまとめ、遵守状況を確認したところ違反はありませんでした。

また、関係当局からの違反等の指摘、訴訟について問題無く、住民等からの苦情もありませんでした。

VI. 代表者による全体評価と見直しの結果

2023年度の実績については、取り組みの努力が反映され満足のいく結果となりました。

2023年度は昨年同様、圃場整備工事や暗渠排水工事、橋梁基礎工事など大規模工事が多く、重機類・ダンプ等による軽油やガソリンの使用量が増大しました。

しかし、前期の問題点に対して3カ月に1回達成状況を確認したり、事務局を通して達成にむけたアドバイスをこまめに行うことで、全目標の達成という良い結果になったと思います。

削減項目の中には経済活動に伴い必然的に使用しなければならないものもありますが、日々の取り組みや工夫によって節約できるものもあります。

次年度においては、変わりゆく環境関連法規等に柔軟に対応しつつ、計画段階から省エネルギー・省資源を十分考慮しマニュアルを作成、ルール化することで誰もがわかりやすく取り組みを実施できるようにし、省エネルギー・省資源化に努めたいと思います。

引続き、周辺環境への影響が少ない工法の採用・再生建築材の使用・建築副産物の再利用等環境に配慮した取り組みに努め、全項目の目標達成を目指したいと考えております。